

バヌアツ共和国大統領 ニケニケ・ヴロバラヴ閣下

名誉あるスティーブン・フェリックス・ドリック バヌアツ国会議長

バヌアツ最高裁長官、ヴィンセント・ルナベック閣下、

閣僚ならびに国会議員の皆様、

アラトイ・イシュマエル・カルサカウ野党党首、

(バヌアツ共和国の元大統領および元首相)、

(マルバトゥマウリ全国酋長会議会長、ポール・ロバート・ラヴン酋長)、

ポートビラ市長、

各州の事務総長、列島パラマウントチーフ、

大使、高等弁務官、外交団代表、

政府、国連機関、市民社会、教会、ビジネスリーダーの代表、

選ばれたゲストの皆さん、

(ビスラマ語)

本日、天皇誕生日を祝うこの行事に時間を割いて参加して下さった皆さんに、心からお礼を申し上げます。

震災から2カ月が過ぎました。

その日、私は今日ここにいる皆さんと一緒に天皇陛下の65歳の誕生日を祝うことになるとは想像もしていませんでした。

その余波を目の当たりにして、いつ日常生活に戻れるのか不安でした。世界の中では、地域によっては、大きな災害は争いや混乱を招いていた（からです）。

しかし、今回はそうではありませんでした。暫定内閣は、改正された災害復旧・復興法に基づき、直ちに必要な措置を講じました。不便を強いられる中で、人々は互いに支え合い、日常に戻るのを待ちました。

開発パートナーが迅速に人道支援を提供したことは大きかったと思います。日本もささやかな支援を行いましたが、それはわずかな貢献でありませんでした。今日、このようなレセプションを開催できるのは、バヌアツの指導者、省庁、関係者、そして何よりもバヌアツの人々の努力の賜物です。

まず最初に、日本を代表してバヌアツの人々に心からの敬意と感謝の意を表したいと思います。

皆さん、昨年、私は日本とバヌアツには多くの共通点があると指摘しました。震災後のポートビラの状況を目の当たりにして、その思いはさらに強くなりました。皆様の対応が、日本の被災地の住民や当局の努力と重なって見えたからです。

日本もバヌアツも自然豊かな小さな島国です。私たちは自然の恵みを大切にし、自然との共生を大切にしています。しかし、私たちは自然の力には脆弱な存在でしかなく、畏敬の念を持ちながら、誠実に（自然と）共存していかなければならないとも感じています。

両国とも、自然を守ることで私たちの生活が守られるという知恵を受け継ぎ、コミュニティを基盤としたレジリエンスが不可欠であります。日本の災害の経験では、災害に強い地域には強いコミュニティの絆があることを示しています。

皆さん、日本の皇室は、常に災害に遭われた方々に心を配り、バヌアツを含む世界各国との友好親善の促進に積極的に取り組んできました。

日本はバヌアツに対し、日本での大災害の後、多くの支援と思いを寄せてくれたことに深く感謝しています。そのお返しとして、私たちはできる限りのことをする決意です。

12月17日以来、私も日本大使として、日本に何ができるかを考えてきました。不運に打ちひしがれるのではなく、この機会を捉え、バヌアツの持続可能な発展に希望を持ちつつ、より良い都市を再建したいと思います。

日本の防災・減災の経験と技術を共有することで、バヌアツ政府や国民の皆様とともに復興に向けて、一歩でも前に進むことを誓います。

震災前の記憶は薄れてつつありますが、昨年、バヌアツと日本の間で起こった重要な出来事をいくつかご紹介したいと思います。

7月、太平洋諸島首脳会議（PALM10）が東京で開催され、サルワイ首相（当時）にご出席いただきました。その際、天皇皇后両陛下は、皇居で首脳の方々をお招きして午餐会を催されています。

昨年はまた、テウマ橋やサラカタ水力発電所など、日本が支援する重要なプロジェクトの起工式が行われました。

さらに、37年ぶりに日本の現職閣僚である伊藤環境大臣（当時）がバヌアツを公式訪問し、レゲンバヌ大臣と会談し、気候変動と環境保護に関する協力の強化を確認しました。

今年は4月から10月にかけて大阪万博が開催され、バヌアツにも出展いただきます。この機会に、貿易や観光を通じてバヌアツの経済的な復興をもサポートしていきたいと考えています。

皆さん、

日本には『災い転じて福となす』ということわざがありますが、バヌアツには今年、そしてそれ以降も前に進

む大きなチャンスがあると信じています。本日のレセプションがその契機となり、またバヌアツとの友情、連帯、そして明るい未来を祝う節目となることを願っています。

最後に、ニケニケ・ヴロバラヴ大統領のご健康と、バヌアツ共和国の国家と国民のご繁栄を祈念して、皆様と一緒に乾杯したいと思います。グラスをお持ちの方は、どうぞ一緒に乾杯をお願いいたします。

「大統領へ、乾杯」

(ビスラマ語で)

ありがとうございます。

そして、敬意を表して、次はバヌアツ大統領、ニケニケ・ヴロバラヴ閣下にお言葉いただきたいと思います。

ありがとうございました。

